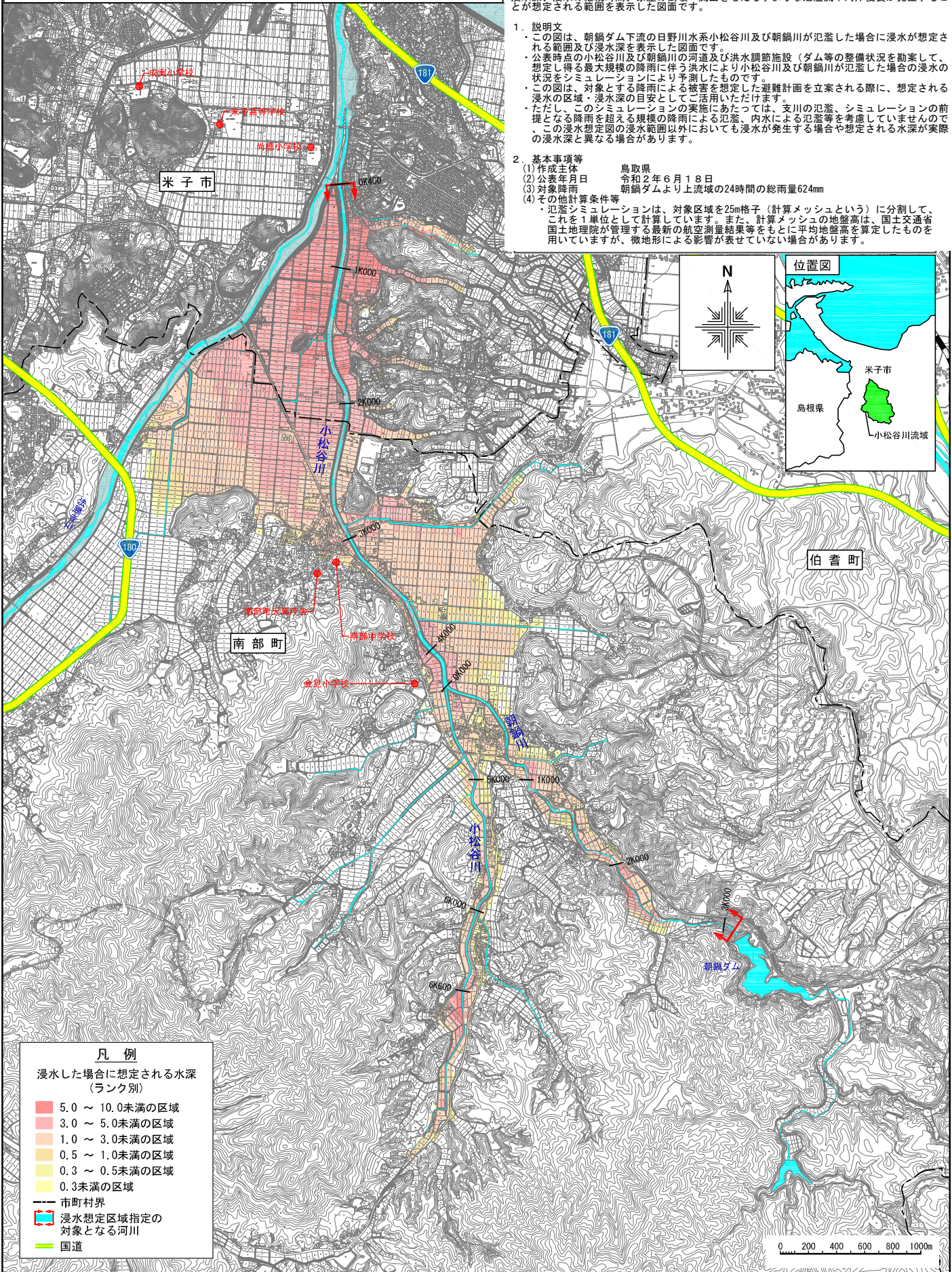


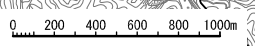
朝鍋ダム下流部における浸水想定図（想定最大規模）

【ダム下流部における浸水想定図とは】
 想定し得る最大規模の降雨によりダム下流河川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び浸水深、浸水の継続時間、家屋の倒壊・流出をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される範囲を表示した図面です。

1. 説明文
 - ・この図は、朝鍋ダム下流の日野川水系小松谷川及び朝鍋川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び浸水深を表示した図面です。
 - ・対象とする降雨は、洪水調節施設（ダム等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小松谷川及び朝鍋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - ・この図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用いただけます。
 - ・ただし、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定図の浸水範囲以外においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
 - (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 公表年月日 令和2年6月18日
 - (3) 対象降雨 朝鍋ダムより上流域の24時間の総雨量624mm
 - (4) その他計算条件等
 - ・浸水シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。



凡例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	5.0～10.0未満の区域
	3.0～5.0未満の区域
	1.0～3.0未満の区域
	0.5～1.0未満の区域
	0.3～0.5未満の区域
	0.3未満の区域
	市町村界
	浸水想定区域指定の対象となる河川
	国道



この地図は、米子市長の承認を得て、米子市都市計画基本図(1/2,500)を使用し複製したものです。(承認番号 令和2年6月2日付 郡創設第86号-2)
 この地図は南部市長の承認を得て、南部市平面図(1/5,000)を使用し複製したものです。(承認番号 平成30年7月26日発南第3563号)
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院承認(使用)R 2Hs 167)